

◆「新しい川崎」メール版◆
-2026年4月7日第223号-

<目次>

● 安全性は後回し、人手不足を理由にどんどん広がるワンマン運転、これでいいの!?

◆ 川崎市政と人口問題（1）

★ お知らせコーナー

① ~5/10 川崎平和館「川崎大空襲記録展」戦時下の市民生活と川崎大空襲

② 4/17~ 中原空襲展

③ 『4・19 国会正門前大行動』

④ 4/26 ゆめシネマ上映会「タイムグラバあちゃん」

⑤ 4/29 シンポジウム 南武線のワンマン化で何が起きているか

★ 編集後記

● 安全性は後回し、人手不足を理由にどんどん広がるワンマン運転、これでいいの!?

<南武線のワンマン運転導入から1年。遅延やオーバーランの発生を問う>

昨年3月から開始された、JR南武線のワンマン運転化。

導入前から、安全性、利便性、運転士の過重負担などが川崎市議会でも日本共産党市議らが問題提起していました。

JR南武線沿線の市民運動団体連合「南武線のワンマン運転の中止を求める川崎市民連絡会議」（以下、市民連絡会議）が発足。

6,000人を超える反対署名も集まり、国交省やJR東日本本社との交渉、学習会の開催、ニュース発行やSNS発信、宣伝活動などを継続してきました。

しかしながら、導入後は恒常的な遅延、ホームドアなどの挟み込み、オーバーラン(停車駅通過)などが発生し、SNSでもワンマン運転によるトラブル投稿が増加、いくつかのメディアでも問題指摘がありました。

(ワンマン運転に関してではありませんが、JRの安全対策後回しの経営体質について、産経新聞は社説で痛烈に批判)

<JR横浜線のワンマン運転化>

そんななか、JR 東日本は 2026 年 3 月 14 日から、JR 横浜線のワンマン運転化も開始しました。

JR はいずれ、山手線のワンマン運転化、さらには自動運転化も視野に入れています。

こうした動きに対し、横浜線ワンマン化直前の 3 月 12 日、総選挙で復職した畑野君枝衆議院議員(国土交通委員)のはたらきかけにより、市民連絡会議のメンバー、横浜線に関する地方議員、候補者らとで、国交省レクが実施されました。

このレクでは、

- ①2025 年 8 月 8 日付 JR 横浜支社の「南武線の遅延対策について」の検証は行われたか。
- ②中野島駅の通過事故について原因を JR にただしたか。
- ③中野島駅通過の事故に見られるように、JR はきちんと国に報告しない実態がある。細かな実態をつかまないうままにしていると、大きな事故がいきなり起きることになる。国は安全確保の役割を果たしているか。
- ④横浜線は延長 42.6 キロ。駅数は 20、踏切はおそらく 44 か所。ワンマン化するにあたり、南武線との違いはあるか。
- ⑤遅延などの懸念はないか。
- ⑥ホームドアは完備しているか。

について質疑が交わされました。

国交省担当者からの答弁は、相変わらず「ワンマン運転化は人手不足解消のために止む無し」が貫かれたものでした。

<首都圏全域に広がるワンマン化反対運動>

市民連絡会はこの間、JR 労働組合 OB など構成される首都圏連絡会とも情報交流、意見交流を重ねてきました。

3 月 14 日は新橋で、市民連絡会議も含む 3 団体(乗客の会、川崎市民連絡会、首都圏連絡会)の学習会「ワンマン運転で、安全は大丈夫」を開催。

予想を上回る 80 名を超える参加者で、この問題への関心の高さ、広がりを感じられました。

この学習会では、埼玉大学名誉教授の安藤陽さんが講演。公共交通事業者としての JR の安全対策と乗客サービスについて、専門的知見を交えてお話されました。

また、各団体からの活動報告やアピールも。

こうした繋がりをもっと広めるべく、市民連絡会議では、4月29日にエポックなかはらでのシンポジウムを開催します。

ここでは、障がい者団体の方からの発言もお願いしています。ぜひ、こぞってご参加ください。

赤石博子通信員（南武線のワンマン運転の中止を求める川崎市民連絡会議）

◆ 川崎市政と人口問題（1）

東京都で昨年生まれた子どもの数（外国人を含む速報値）が、88,518人で、昨年より1.3%増になったことが話題です。

東京都では、2,016年からの減少がここでストップしました。

東京都によると、18歳以下に月5,000円を支給する「018サポート」や、国に先駆けた手厚い少子化対策を原因としてあげています。今後の推移に注目です。

それでは、川崎市の出生数はどうなっているのかを、川崎市の人口動態調査で調べてみました。

川崎市の統計では、出生率（%）を、【その年の出生数／その年の1月1日現在の推計人口×100】という式で算出しています。この「出生率」は、統計学で一般的に使われる「合計特殊出生率（1人の女性が一生に産む数）」とは全くの別物で、「街の人口に対して、今年どれだけ子どもが誕生したか」という比率です。

<出生数と出生率は年々減少し、死亡者数と死亡率は年々増加>

2016年の出生数14,722人・出生率1.0をピークに、それ以後8年間減少を続けて、ついに、2024年（最新データ）では、出生数10,873人、出生率0.70となりました。

一方、死亡者数と死亡率は、2016年の10,552人・0.71%から8年間ほぼ増加を続けて、2024年では、死亡者数14,071人・死亡率0.91と最高となりました。

<逆転の意味を問う>

2024年統計での自然減は、3,198人です。

外からの転入者がいなければ、川崎市は猛烈な勢いで人口減少に向かっているのです。

それでも、社会増により川崎市は2024年も人口増を続けているのです。

「出生率と死亡率との逆転」「社会増による人口増加」から単純に言えることは、次の4点です。

- ・ 100人の市民がいても、1人も赤ちゃんが生まれていない（0.7人）という状態
- ・ 2017年から1.0%を割り込んでいることは、街の活力を維持する最低限のラインを7年も前に割り込み、そこからさらに減少が拡大し続けている状態
- ・ 川崎市は「通勤に便利な街」として特定の層が急増したため、街の構成バランスが崩れている状態
- ・ 「子育て真っ最中の世帯」よりも、「単身者」「DINKS（子どものいない夫婦）」「高齢者」の割合が増えているし、中原区以外では、人口減少が顕著になる不均衡が広がっている。

<今後の課題は>

メルマガ「新しい川崎」では、川崎市が策定した「今後10年の総合計画」と「第4期プログラム」「第4期行財政改革」の批判検討を続けています。

川崎市の予測では、2035年まで人口増が続くとし、国の試算では、2945年まで人口増が続く、と報じられています。

人口増は、市の税収の増加を支え、財政力指数1.03に貢献してきたことも確かです。しかし、今回の調査を通して見えてきたのは、「川崎市の人口増の歪み」です。

そして、12年間の福田市政は、自然数の人口減少を社会増でカバーした「人口増加」による税収増を大規模開発に振り向けて、さらに、歪みを深刻化してきたのではないのでしょうか。

川崎市で子どもを産み育てたいと希望する家族が、安心して子育てできる環境を整えることが急務になっていると考えます。

今回の人口問題の新たな問題提起についての批判検討をぜひ、お寄せください。(I)

★ お知らせコーナー

① 川崎平和館「川崎大空襲記録展」戦時下の市民生活と川崎大空襲

3/7～5/10まで

川崎市平和館

主催 川崎市平和館

入場無料

② 中原空襲展

4/17～22

中原市民館 1階ギャラリー

主催 川崎中原の空襲・戦災を記録する会

入場無料

③ 『4・19 国会正門前大行動』

<https://sogakari.com/?p=8590>

4/19(日)14時から

共催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

／9条改憲 NO！全国市民アクション

※4月19日に予定していた川崎民主市政をつくる会のタウンミーティングは5月に延期します。

※市内の南中北の各方面で、一緒に行こうという計画があれば教えてください。次号で掲載します。

④ ゆめシネマ上映会「タイマグラばあちゃん」

4/26 ①9時 ②12時 ③15時

本編：110分 監督トークビデオ：35分

かわさきゆめホール

岩手県のほぼ真ん中に位置する早池峰山の麓に戦後、“タイマグラ”と呼ばれる 小さな開拓地がつくられ10軒あまりの農家が入植した。

しかし、東京オリンピックの頃までにはほとんどの家が去り、残ったのは向田久米蔵さん、マサヨさんの夫婦二人だけだ。そして。

申込：ゆめホール 044-433-3003

cinema@kawasakiyume.com

[予告動画](#)

⑤ シンポジウム 南武線のワンマン化で何が起きているか

4/29(水祝) 14時

川崎市総合自治会館

南武線のワンマン化の中止を求める川崎市民連絡会

連絡先 赤石(090-5301-5091)

[x リンク](#)

★編集後記

超硬素材が入手困難で価格が高騰しているそう。

銅の価格高騰、3年前の3倍に跳ね上がり、弊社でも銅製品は加工費と材料費を分けて出し、材料費には「時価」と明示するようにしました。

No.68 という潤滑油が手に入らないという。

シンナーが入荷せず塗装屋さんが困っているんだとか。

前半は高市氏の「台湾有事」発言の影響。

日本の製造業、産業全体に大きなダメージを与えていますが、政府は「影響は限定的」とうそぶいています。

後半はトランプ氏によるイラン攻撃の影響。

「日本全体として必要となる量は確保されている。これからそれを増やしていく取り組みを懸命に進めている」

「少なくとも国内需要4カ月分を確保している」原油の「代替調達を着実に進んでいる」高市総理は強気の発言を続けていますが、現実の社会では、深刻な影響が広がっています。

日本の経済に深刻な被害をもたらしている、高市首相とトランプ大統領。

この二人が退陣しないと世界も日本も良くなりません。

国会前で、日本中の駅頭で今、若者たちが戦争反対の行動に立ち上がっています。

相変わらずマスメディアはほとんど取り上げません。

そんな全国のデモを若者をつなぐデモカレンダーが注目を集めています。

[デモカレンダー](#)

じじいも負けてられない。(Y)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき!☆☆